

～情報セキュリティ対策と人材育成～

参加料無料、定員 50 名

IT活用を背景とし、個人情報をはじめとする多くの情報が企業活動において活用されている現在、情報セキュリティに関連する事故等の脅威から会社を守るために、まず取り組まなければならないのが、社内の啓発と教育であるといわれています。

今回は、「コンピュータサービス技能評価試験（情報セキュリティ部門）」【公的資格試験】を有効に活用することで、情報セキュリティ対策をより強固なものにできるようその活用方法等についてご提案させていただきます。

- 日 時 平成23年4月27日（水） 15:00～16:30
- 場 所 ホテルウェルビューかごしま 2F(潮騒) 鹿児島市与次郎2丁目4-25
- 参加者等 企業の教育担当者、教育訓練機関インストラクター、情報・通信業の営業担当者など
- 申込方法 裏面申込書により、4月15日(金)までに申込下さい。

■ 講 演

「情報セキュリティ対策は行われていますか？」

～セキュリティ教育・啓蒙の重要性とWJ認定制度の導入メリット～
情報セキュリティ部門公式テキスト著者 佐藤 京子 氏

IT関連インストラクター、コンピュータ関連書籍専門の出版社勤務、現在はIT関連の研修・執筆を中心にフリーランスとして活躍中。その間、30以上の図書の作成に関わり、最近では、コンピュータサービス技能評価試験 情報セキュリティ部門公認テキストを作成。今回の講演では、情報セキュリティ対策に関する人材育成の重要性と、「コンピュータサービス技能評価試験（情報セキュリティ部門）」を活用した効果的な方法についてご提案して頂くことになっています。

■ 事例発表

「我が社の情報セキュリティ対策とその取組について」

洵上印刷株式会社

取締役 経営企画部長兼総務部長 田中 健二 氏

お客様の大切な情報をお預かりし、それを利用して印刷物を作る印刷業。情報セキュリティに対する「信頼」は、仕事をする上での基礎といえる。洵上印刷では、情報セキュリティ対策を経営の重要な課題と捉え、規定や社内制度を整備。また、システムだけでは、全ての情報を完璧に管理することは困難であることから、「コンピュータサービス技能評価試験（情報セキュリティ部門）」の受験を勧め、社員一人ひとりの「自覚」を促し、確実に「実行」できるようにセキュリティ教育や啓発に力を入れています。